

## 令和2年度ネットリサーチ「地域の教育力」に関するアンケート結果報告書

### ■結果のポイント

- 地域の子どもたちとの交流や活動の状況については、「まったく行っていない」が66.6%で最も高い。
- 「地域の教育力」の変化については、「変わらない」が49.0%で最も高く、次いで「低下している」が38.1%と続く。
- 「地域の教育力」が低下している要因については、「近所同士の親交が希薄化しているため」が64.0%で最も高く、次いで「個人主義が浸透してきているため（他人の関与を歓迎しない）」が44.4%と続く。

### ■調査結果の概要

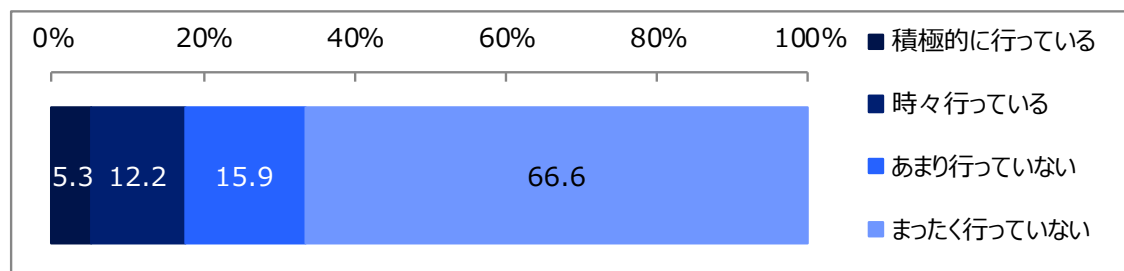
#### 1 地域の子どもたちとの交流や活動の状況

◇ 「まったく行っていない」が66.6%で最も高い。

Q1.あなたは現在、子ども会活動やPTA活動、地域のお祭りなど、地域の子どもたちとの交流や活動を行っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
積極的に行っている	5.3	53
時々行っている	12.2	122
あまり行っていない	15.9	159
まったく行っていない	66.6	666



#### 2 「地域の教育力」の変化

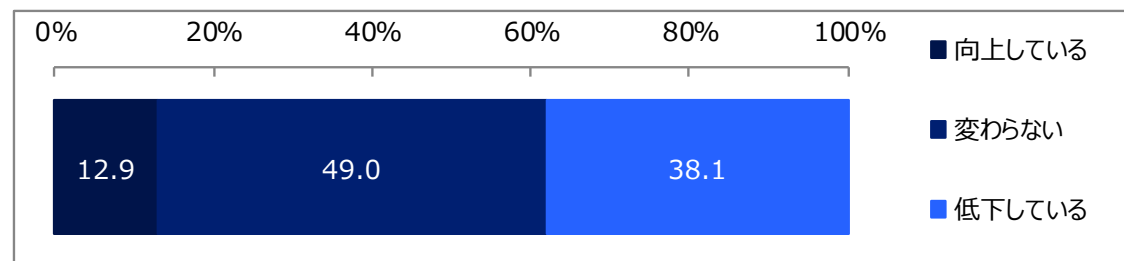
◇ 「変わらない」が49.0%で最も高く、次いで「低下している」が38.1%と続く。

Q2.あなたは、「地域の教育力」が自分の子どもの頃と比べてどう変化していると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

※「地域の教育力」とは、地域内の子ども、保護者、一般住民が交流などを行うことにより、地域全体で子どもを育て・守る雰囲気やしぐみを生み出す力をいいます。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
向上している	12.9	129
変わらない	49.0	490
低下している	38.1	381



### 3 「地域の教育力」が低下している要因

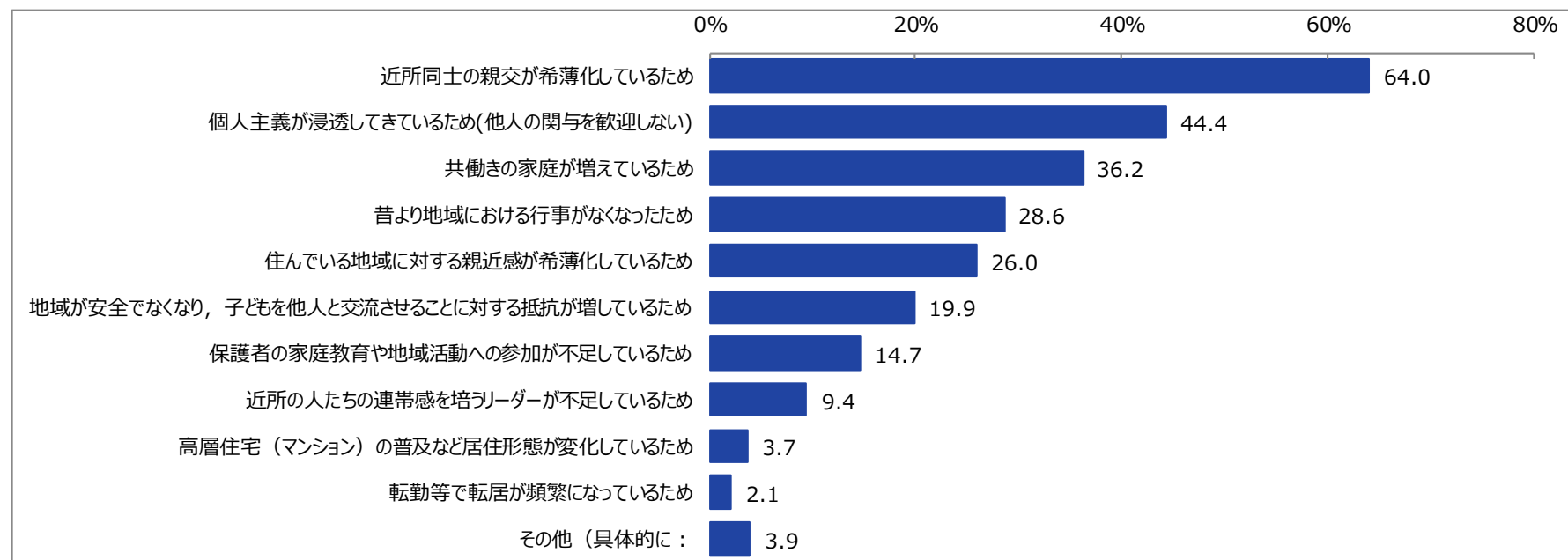
☆ 「近所同士の親交が希薄化しているため」が 64.0%で最も高く、次いで「個人主義が浸透してきているため（他人の関与を歓迎しない）」が 44.4%と続く。

（Q2で「3.低下している」と回答した方のみ）

Q3.「地域の教育力」が、自分の子どもの頃と比べて低下している主な要因は、次の中のどれだと思いますか。近いと思われるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	381
近所同士の親交が希薄化しているため	64.0	244
個人主義が浸透してきているため(他人の関与を歓迎しない)	44.4	169
共働きの家庭が増えているため	36.2	138
昔より地域における行事がなくなったため	28.6	109
住んでいる地域に対する親近感が希薄化しているため	26.0	99
地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることに対する抵抗が増しているため	19.9	76
保護者の家庭教育や地域活動への参加が不足しているため	14.7	56
近所の人たちの連帯感を培うリーダーが不足しているため	9.4	36
高層住宅（マンション）の普及など居住形態が変化しているため	3.7	14
転勤等で転居が頻繁になっているため	2.1	8
その他（具体的に：	3.9	15



## ■調査の目的

県では、「青少年の健全育成と若者の自立を支える社会づくり」を掲げ、青少年の健やかな成長を地域社会全体で支えるため、地域の教育力の向上に向けた取組の充実を図ることとしている。青少年の健全育成には、地域社会との関わりが重要であることから、県民の地域の教育力についての意識を測り、今後の施策推進の資料として活用する。

## ■実施概要

- ・実施期間 令和2年7月10日～17日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和2年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		205	160	96	348	191	1,000
性別	男性	106	80	51	178	99	514
	女性	99	80	45	170	92	486
年代別	18～29歳	33	27	17	65	33	175
	30歳代	34	28	17	62	32	173
	40歳代	46	37	21	81	42	227
	50歳代	45	33	19	69	38	204
	60歳代	47	35	22	71	46	221

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。